



# 持続可能な社会を目指して

## ～日本企業への期待～



枝廣 淳子

# 内容

1. 「低炭素社会」を超えて
2. 「脱……」の時代
3. 生き残れる企業・生き残れない企業
4. 政治の役割
5. 企業にとっての新しいパートナー

# 「低炭素社会」を超えて

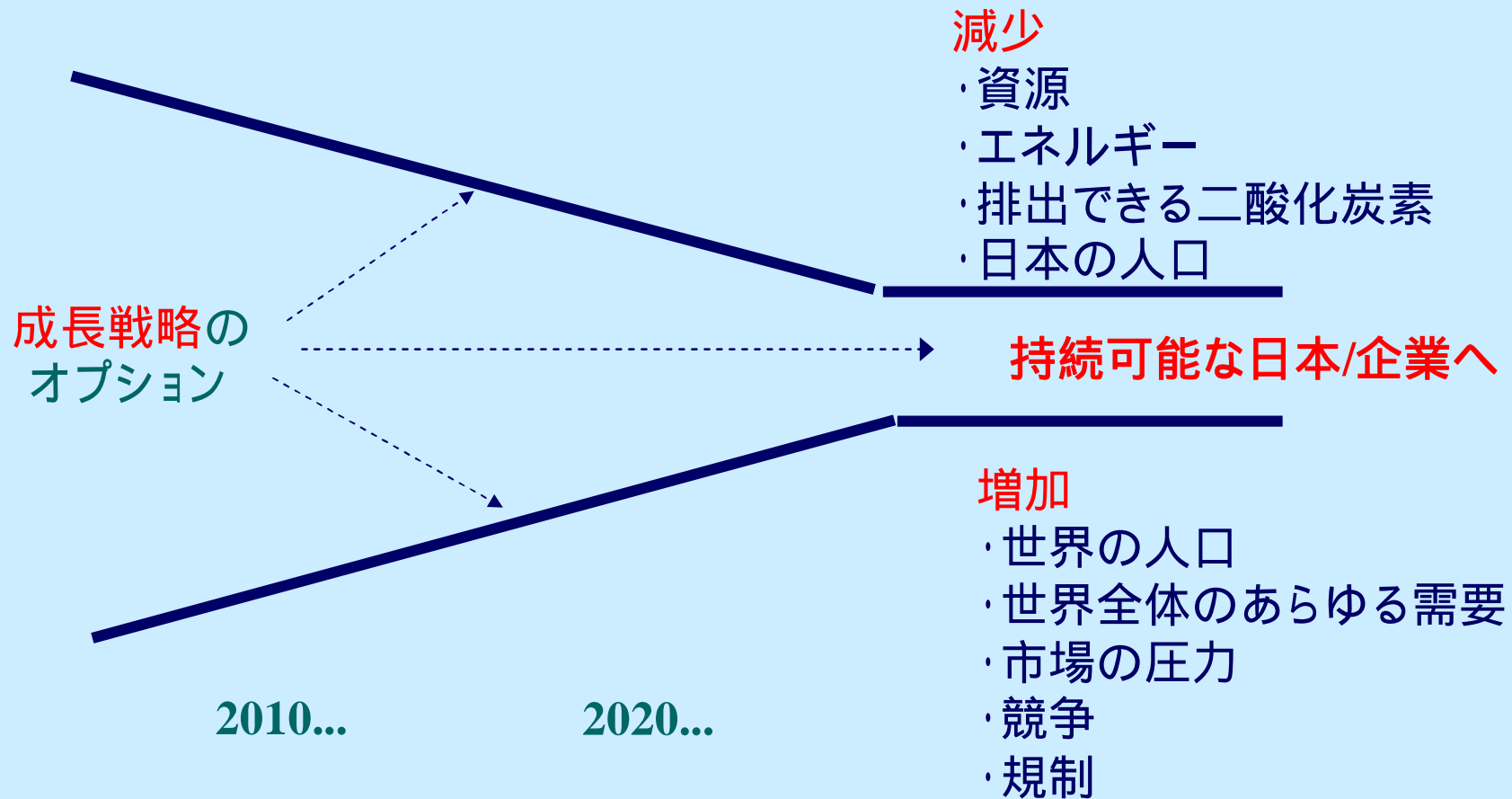
通常の景気循環ではない「移相」

# 次の長期的な均衡を探る動乱期

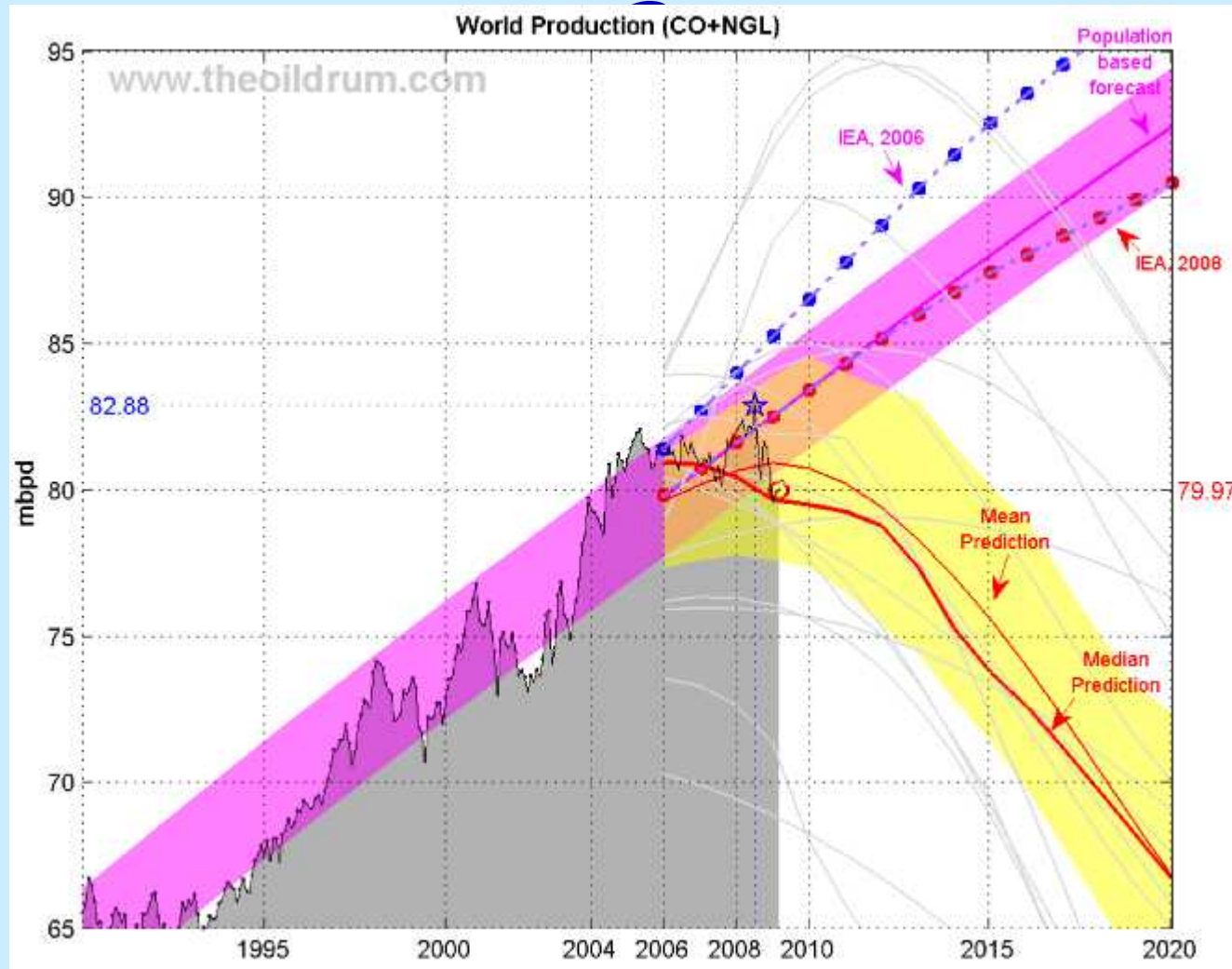
「今起こっておりますサブプライムモーゲージローンの問題に端を発する国際金融市場の混乱、これについての基本的な性格は、私は世界経済全体として地球環境資源、エネルギー資源、あるいはその他素原材料等の資源制約というものの絶対的な天井というものを意識し始めた途端に、マーケットがそれまでの経済の動きに対して、あるいはその過剰部分に対して急ブレーキをかけている。次の長期的な均衡は何かということを探る努力を促している、そういう現象だというふうに基本的に理解しています」

(温暖化問題に関する懇談会にて福井元日銀総裁の発言より)

# 資源・エネルギー・炭素制約が厳しくなる世界



# ピークオイル: 2012 ~ 2014年にも



<http://www.theoil Drum.com/tag/update>

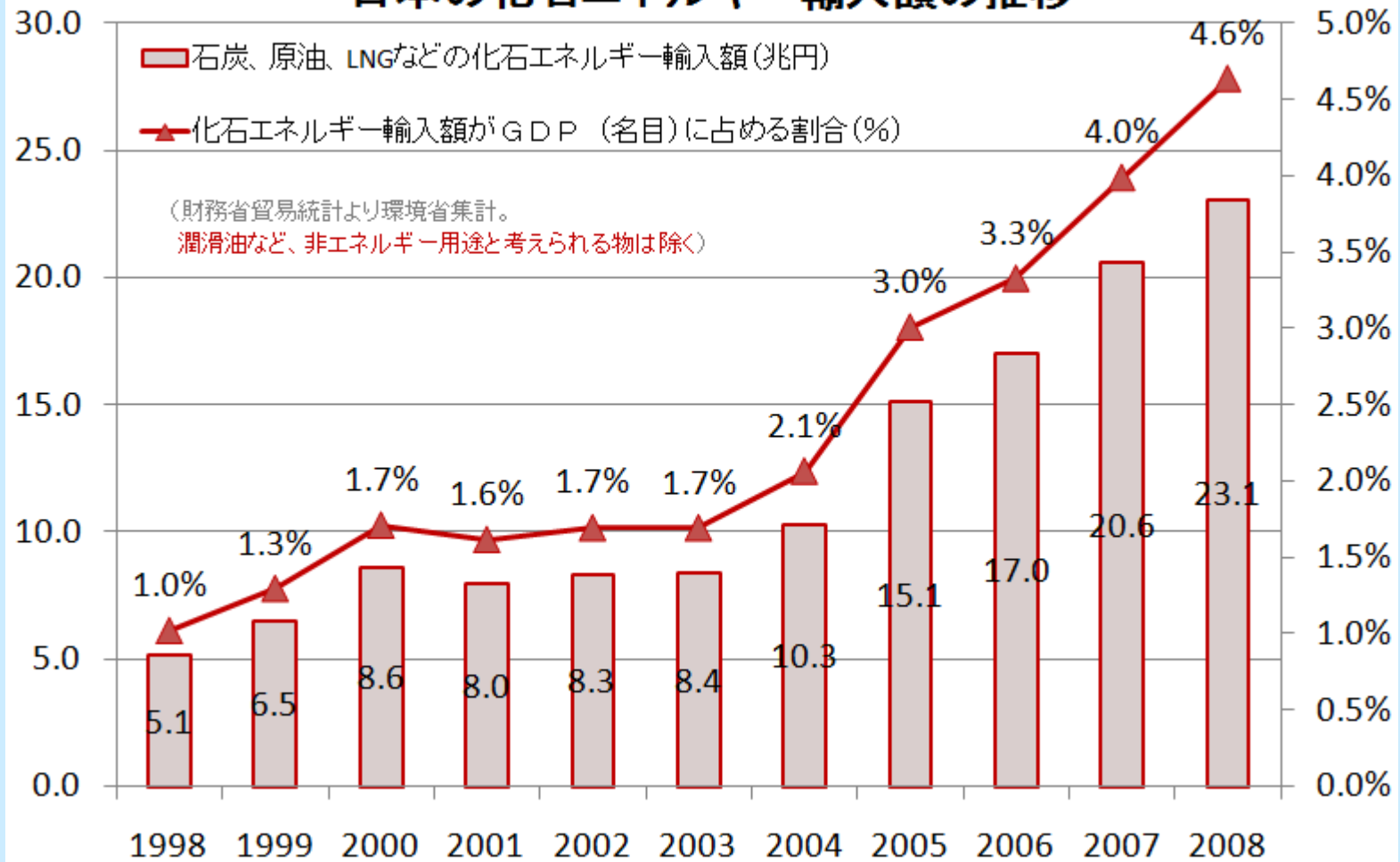
Copyright 2010 有限会社イーズ 無断複製・無断転載を禁じます。

## IEA (国際エネルギー機関) 2009年8月

「世界の埋蔵量の4分の3を占める800の油田を調べたところ、**主要な油田のほとんどでは、すでに産油量がピークを過ぎており、世界全体の産油量も10年以内にはピークに達するだろう**」

「2007年に、産油量の減少率は年3.7%と予測していたが、**実際は年6.7%で、前の予測は間違っていた**」

## 日本の化石エネルギー輸入額の推移





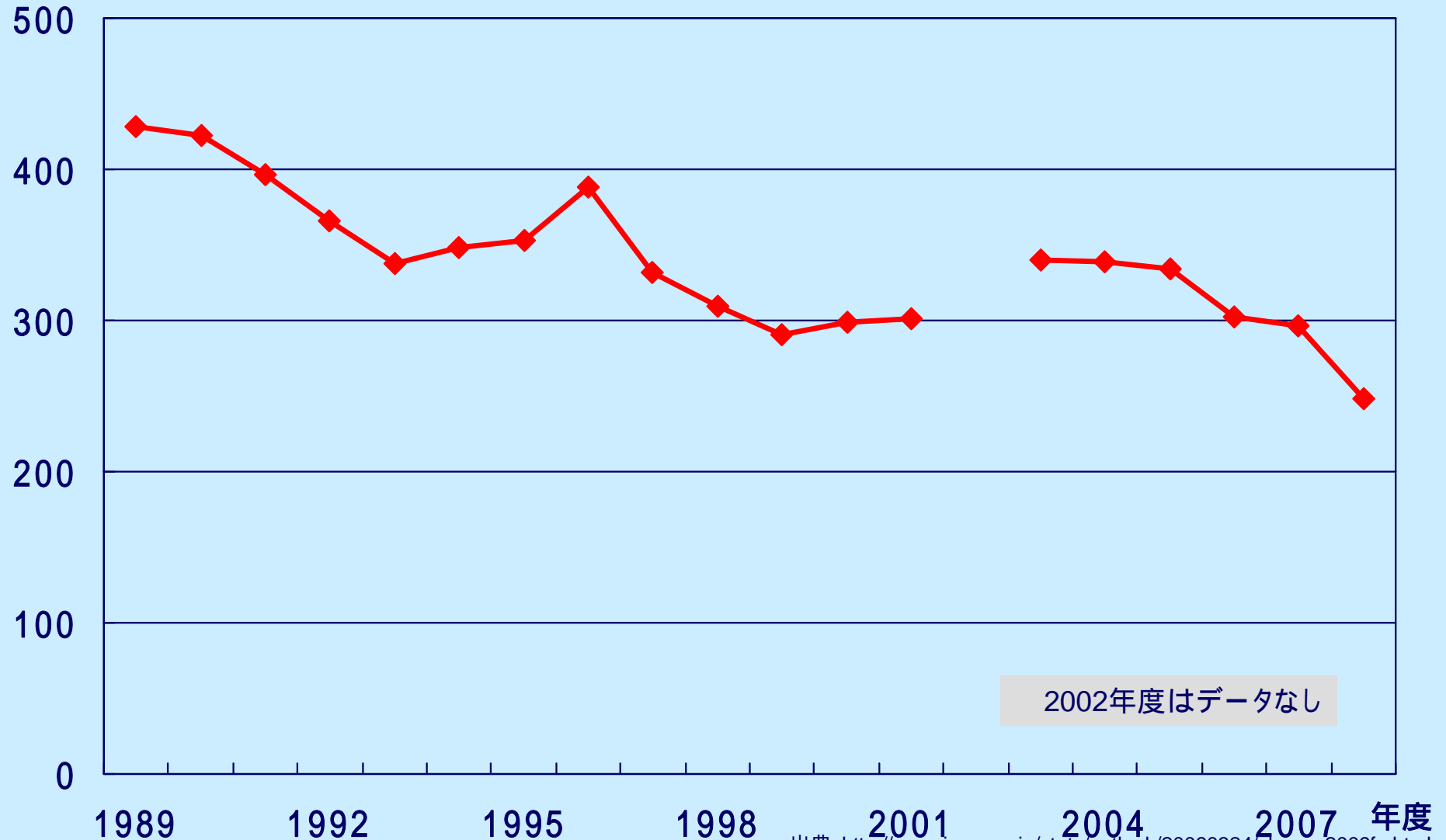
# 「低炭素社会」を超えて

「買わない消費者」

# 普通・小型乗用車の国内需要台数推移

(1989～2008年度)

台数 (単位:万)



# 年齢3区分別人口の推移(1950年～2005年)

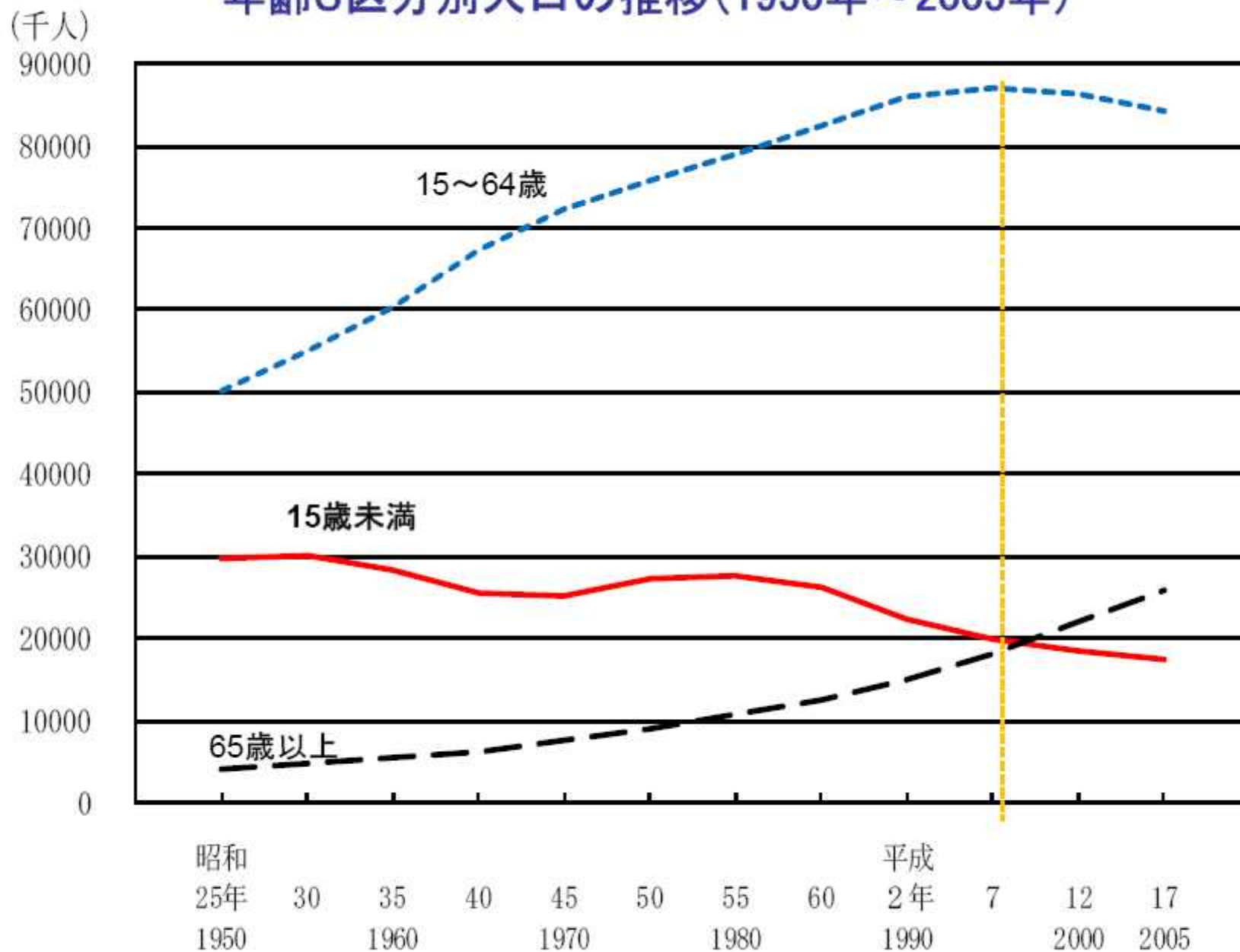
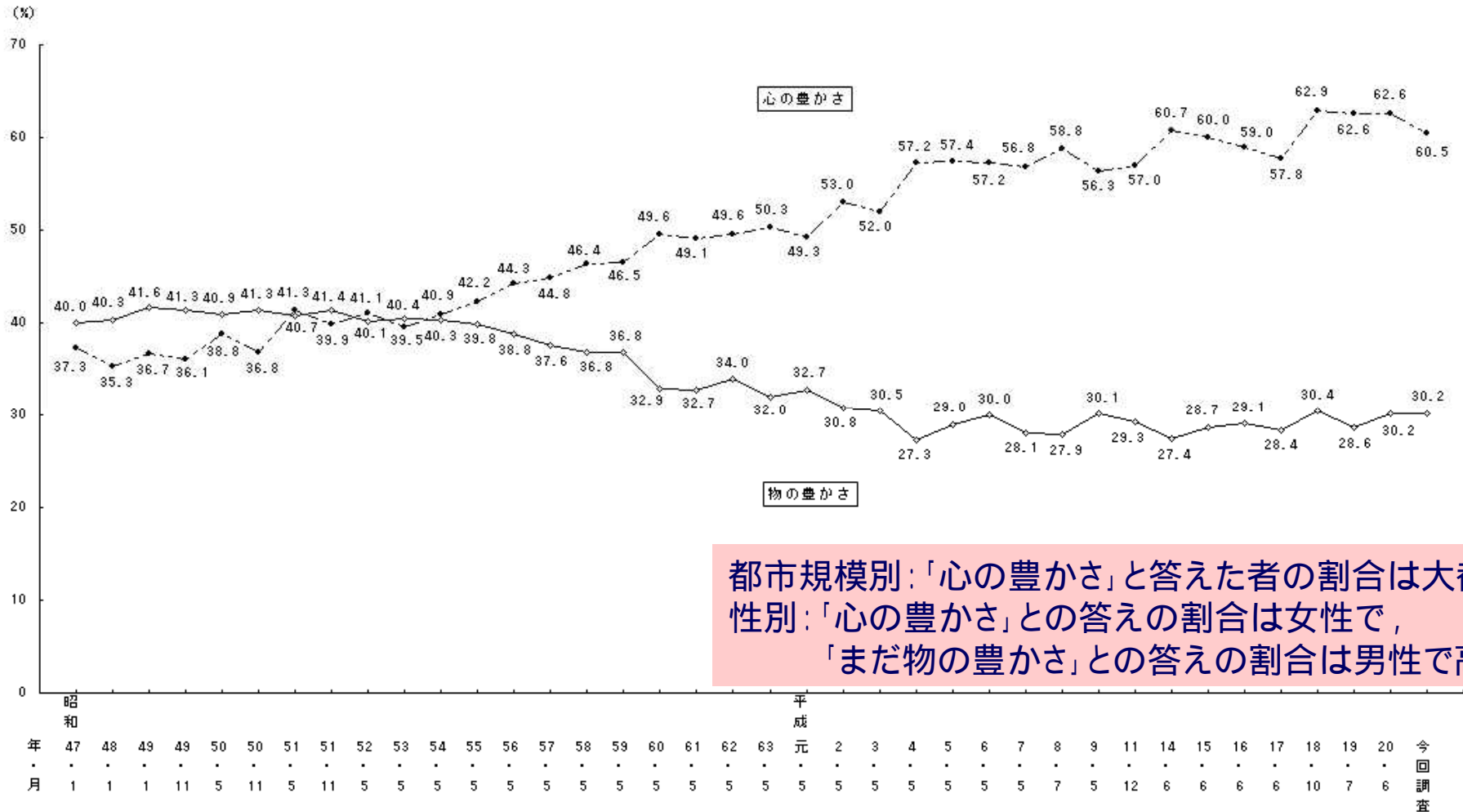


図37 これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか（時系列）



都市規模別：「心の豊かさ」と答えた者の割合は大都市で  
性別：「心の豊かさ」との答えの割合は女性で、  
「まだ物の豊かさ」との答えの割合は男性で高い

(注) 心の豊かさ → 「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」  
物の豊かさ → 「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」

# 「脱……」の時代

人々の価値観はあっという間に変わるもの

「白色度70」のコピー用紙

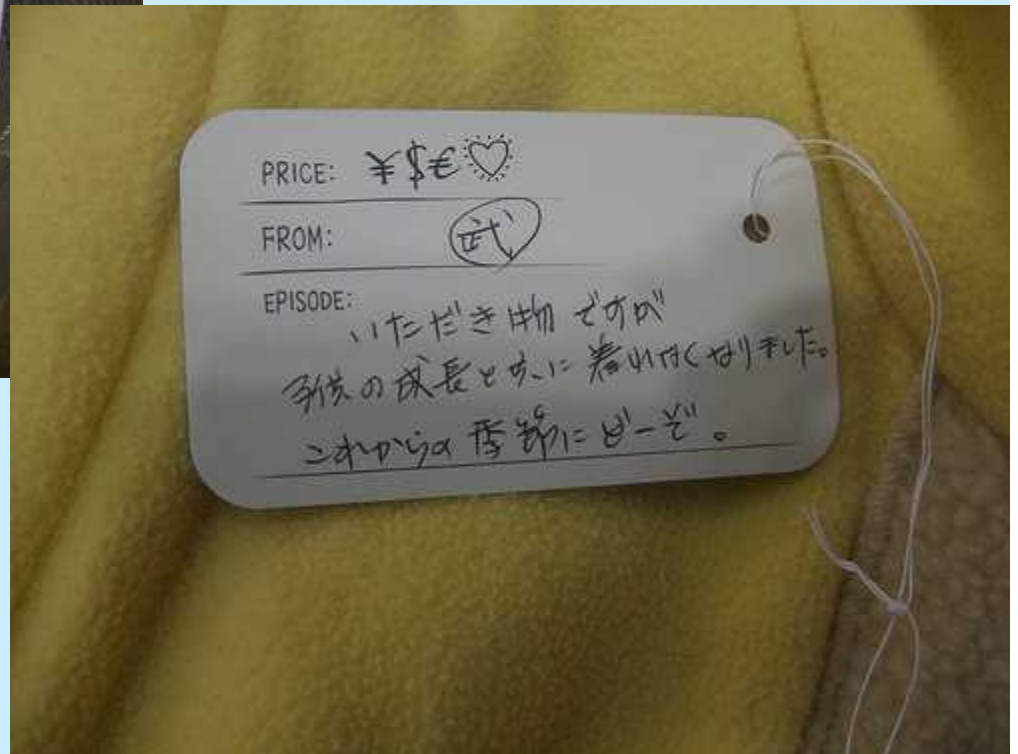
カーシェアリング、2000年に日本に紹介、  
当時は「日本人はきれい好きだから無理」

# 「脱……」の時代

- 暮らしの脱所有化  
クルマ、本、衣類、CD・DVD、家……
- 幸せの脱物質化  
つながりや自然・農への回帰……
- 人生の脱貨幣化  
「半農半X」……

どこへ向かうのか









# 生き残れる企業・生き残れない企業

企業は社会が必要とする限りにおいて  
存続できる

社会が必要とするものは、時代によって  
変わっていく

現代版ラッダイトにならない

# 2つの戦いを同時に進める

- ・今の土俵で戦う

例) エコポイント、途上国市場

大型に買い替えたならポイントなんておかし

途上国市場もいつかは飽和する

- ・来るべき土俵を見抜き、態勢を整える

真に必要なもの: 「地球1個分の暮らし・社会・経済」

にするために必要な技術

# 地球の大きさは決まっている



# 人間の影響が急激に大きくなってきた

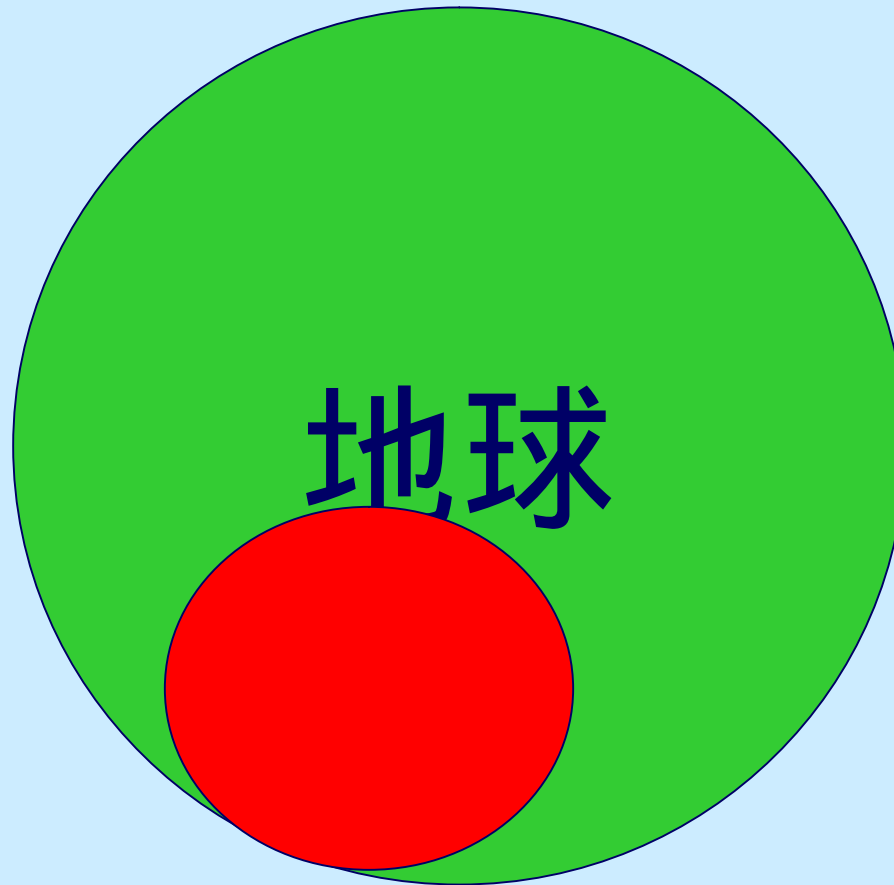
むかし

地球

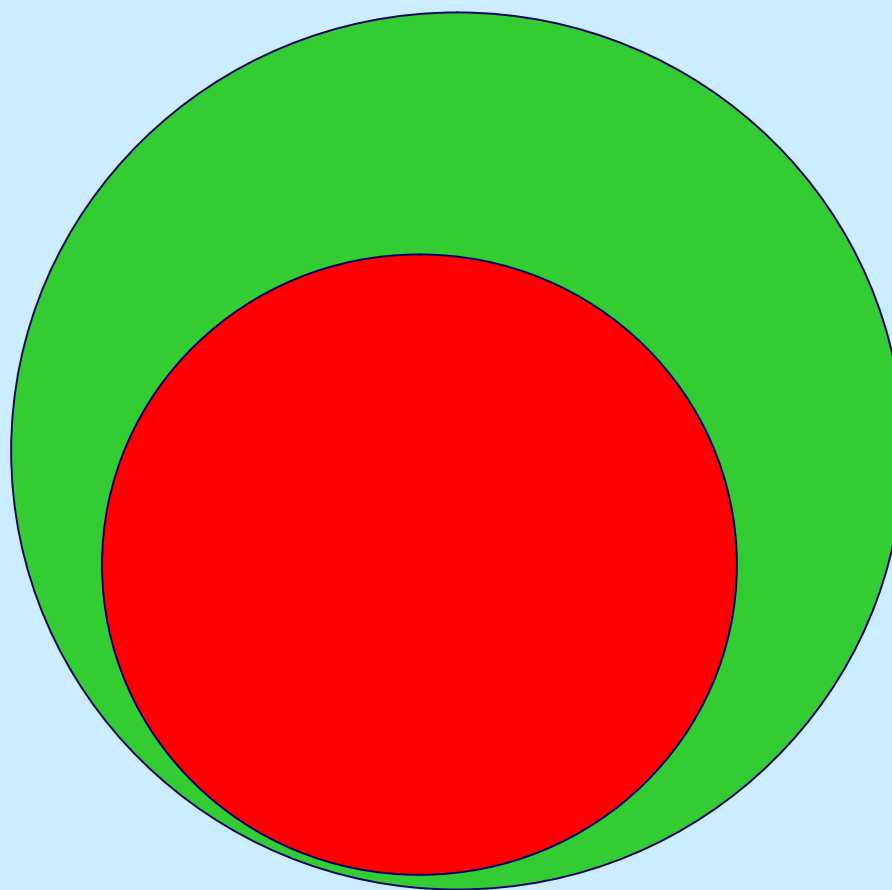
人間の  
影響力



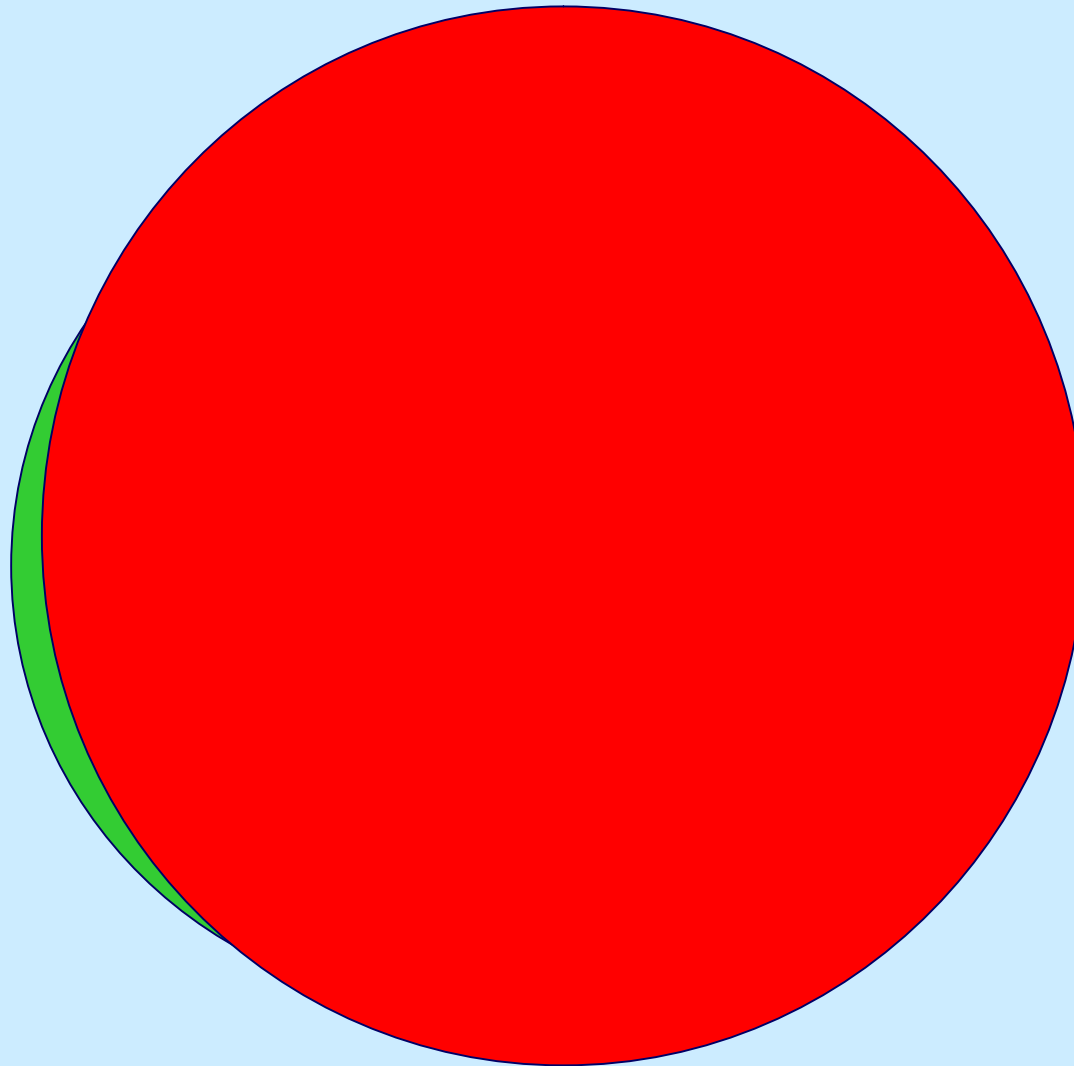
そして



そして

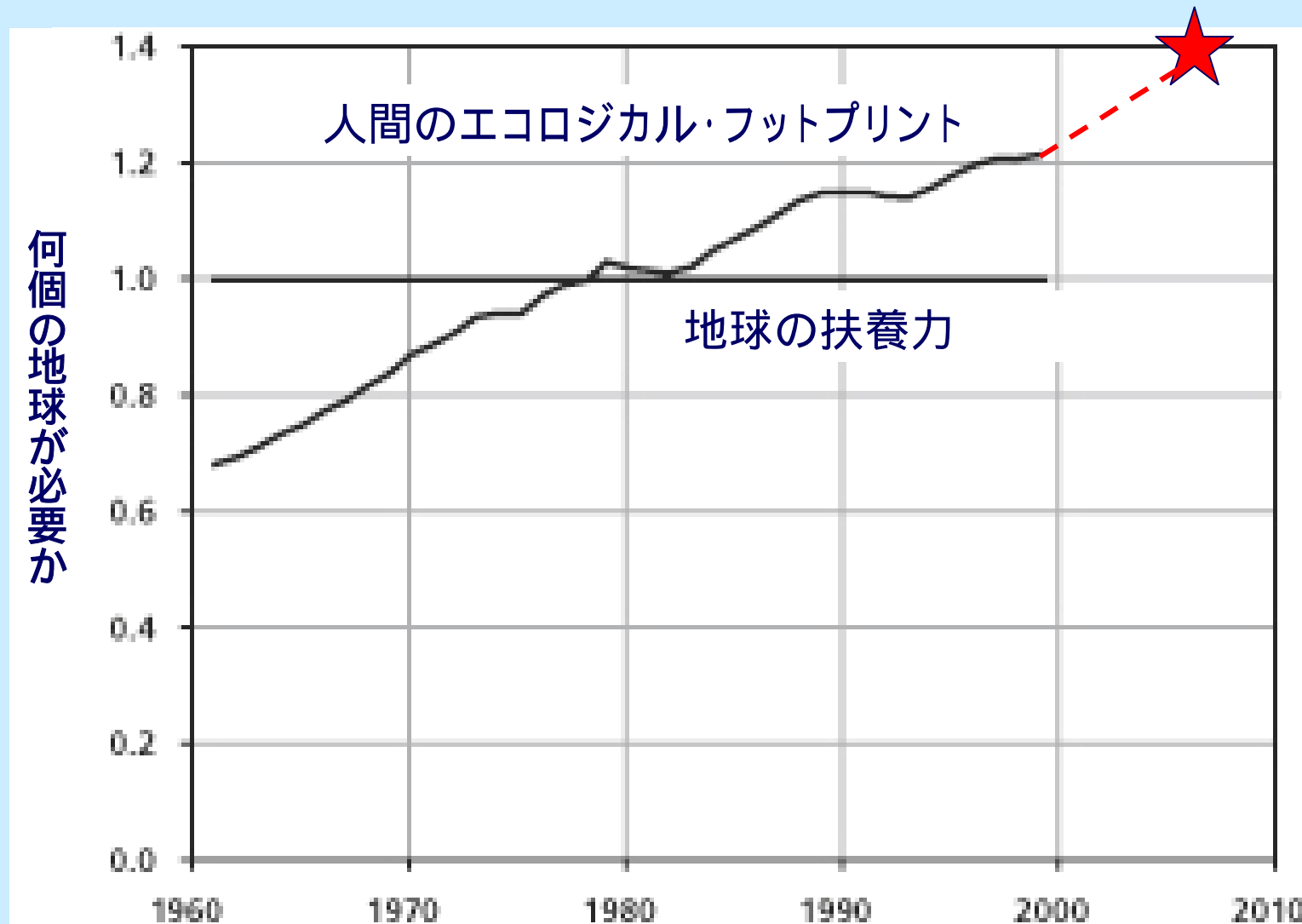


いま





# 地球1コ分を超えてしまった！



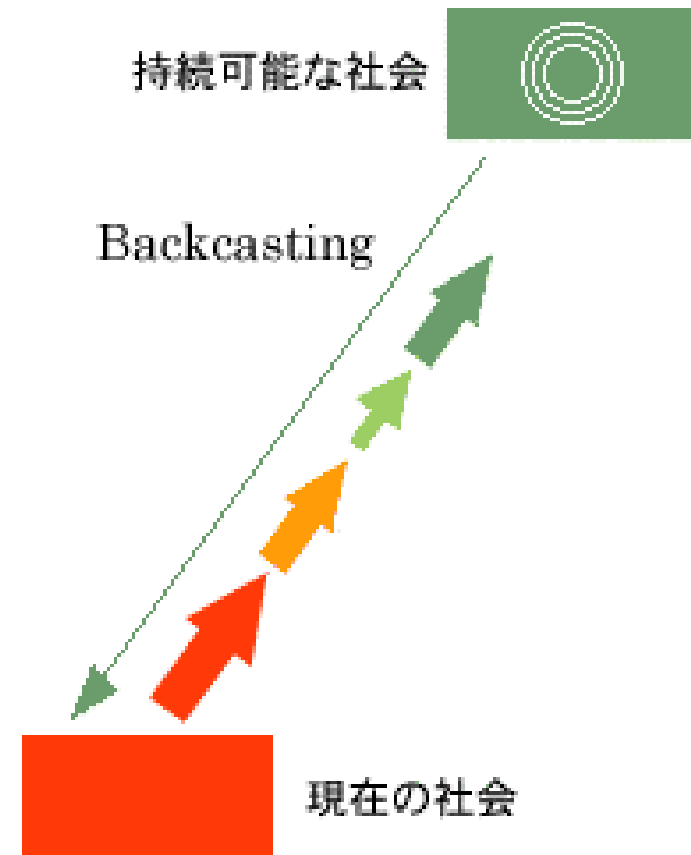
# 政治・産業界の役割

真のビジョン

# バックキャストिंग

フォアキャストイング手法

バックキャストイング手法



© Takashi Yoshida

ナチュラル・ステップ・ジャパンより

Copyright 2010 有限会社イーズ 無断複製・無断転載を禁じます。

## 例：スウェーデン「脱石油国家へ」

- 2005年末、「2020年までに石油を使わない国になる」と宣言
- 首相を委員長とする「脱石油委員会」を発足
- 社会全体で20%以上のエネルギー効率アップ
- 交通輸送の石油・ディーゼルを～40%減
- 産業界の石油使用量を25～40%減
- 民生、商業用建物で石油による暖房はゼロへ

具体的な政策を進める

# 日本をどういう国にしていくのか

- エネルギー自給率：4%
- 食糧自給率：40%
- 人口減少
- 高齢化
- 地域の疲弊、過疎化
  
- 世界的なエネルギー制約、CO2制約の激化

# どういう日本にしていきたいのか？

省エネ + エネルギー転換

(化石燃料 自然エネルギー)

まちづくり (交通 + 土地利用)

歩いて暮らせる町

エネルギーや食糧の自給力の高い町

住民のつながりがある町

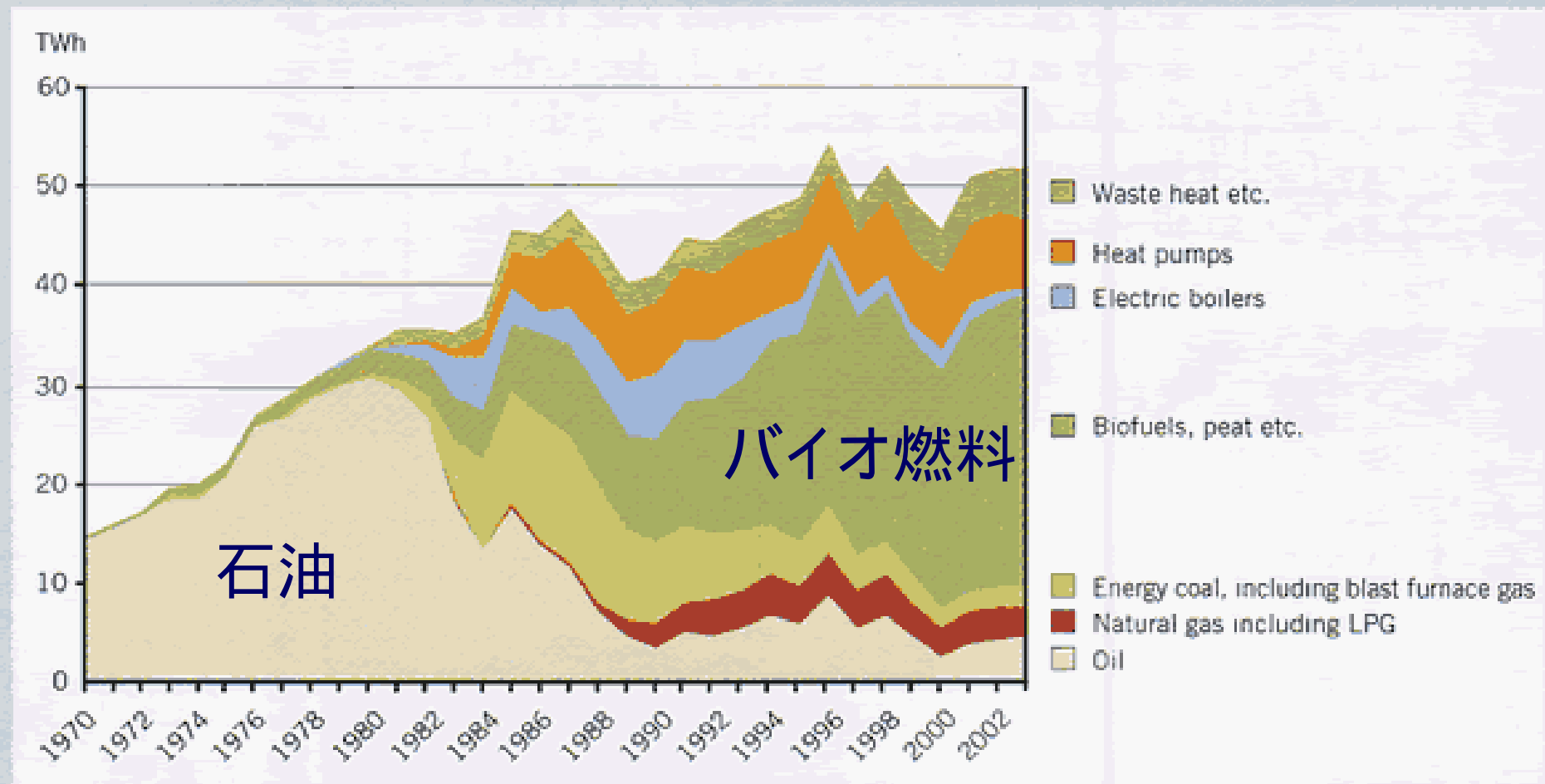
# 政治・産業界の役割

真のビジョン

実現のためのしくみ

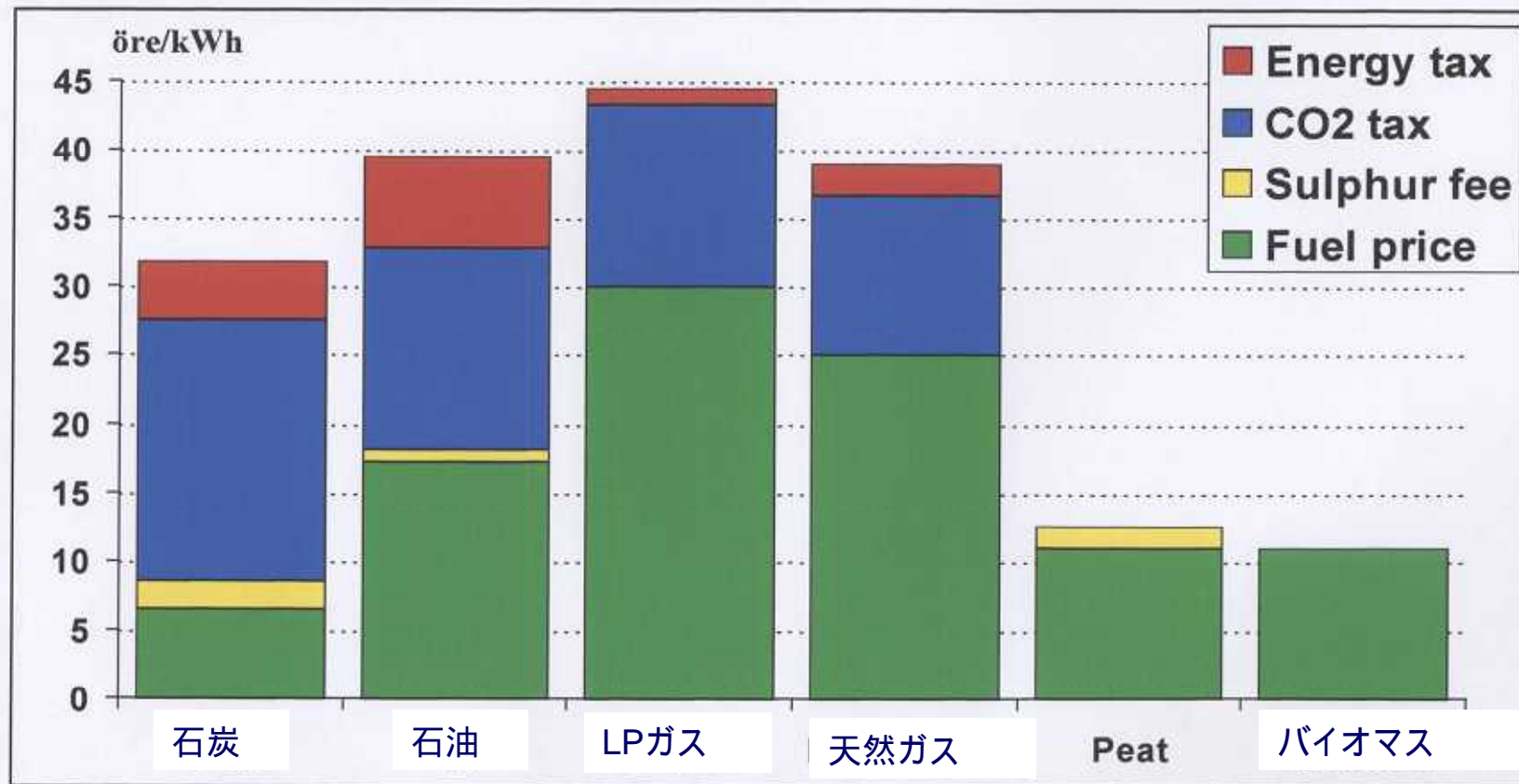
# スウェーデンの例： 地域暖房のエネルギー源

Figure 7. Energy input for district heat production.





# 人々がそうしたくなるしくみづくり



(exclusive NOx fee: 1 - (-3) öre/kWh)

# 政治・産業界の役割

真のビジョン

実現のためのしくみ

コスト・リテラシーに基づく負担の議論

# 「コスト」「負担」の議論

- 「いくらかかるか」だけでなく  
cost of action
- 「それによるプラス面は？」  
benefit of action
- 「それをやらなかったときのコストは？」  
cost of inaction

# 政治・産業界の役割

真のビジョン

実現のためのしくみ

コスト・リテラシーに基づく負担の議論

cost of action,

benefit of action

cost of inaction

つねに進捗状況をフィードバックし、次に活かす

# 企業にとっての新しいパートナー

- ・リスクマネジメント

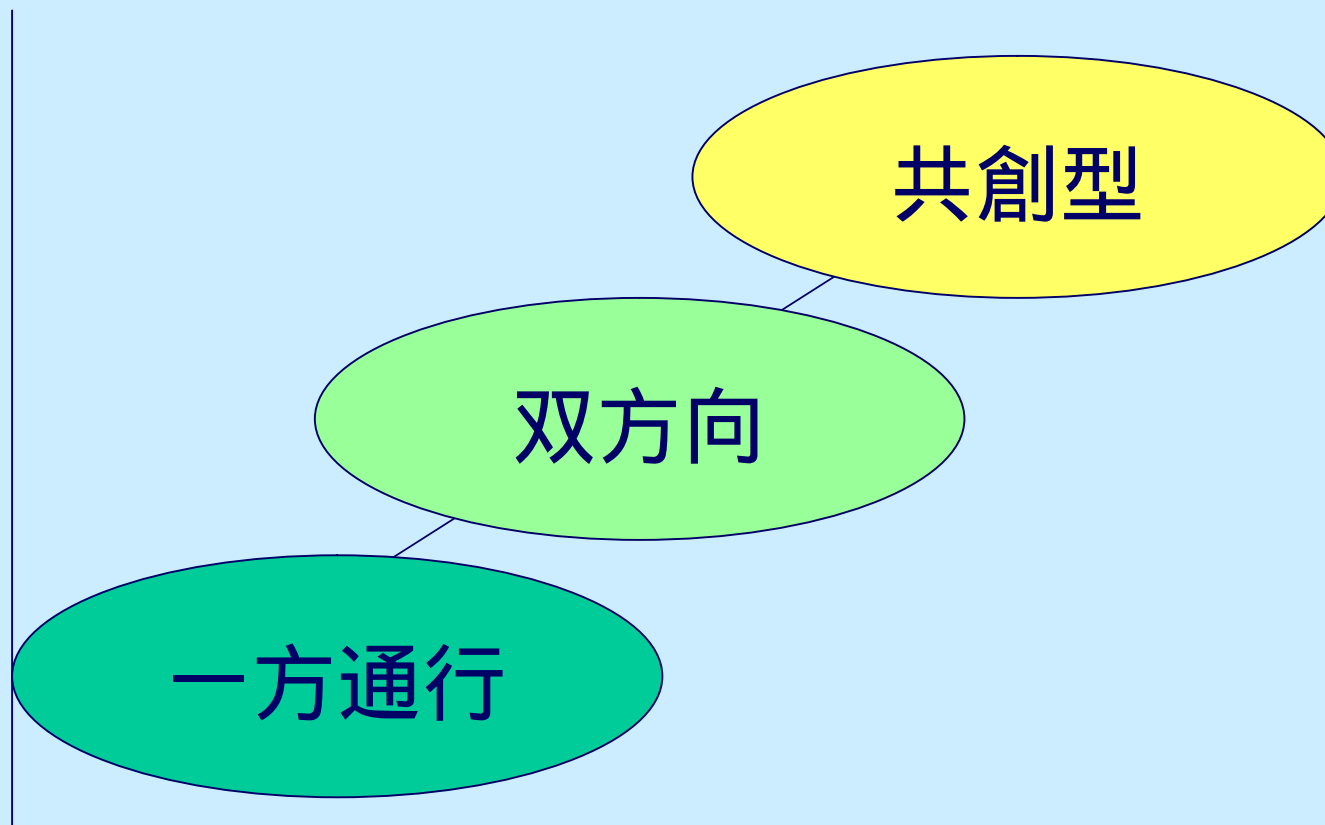
- ・社会のアンテナ

- ・「共感マーケット」「有機工業」

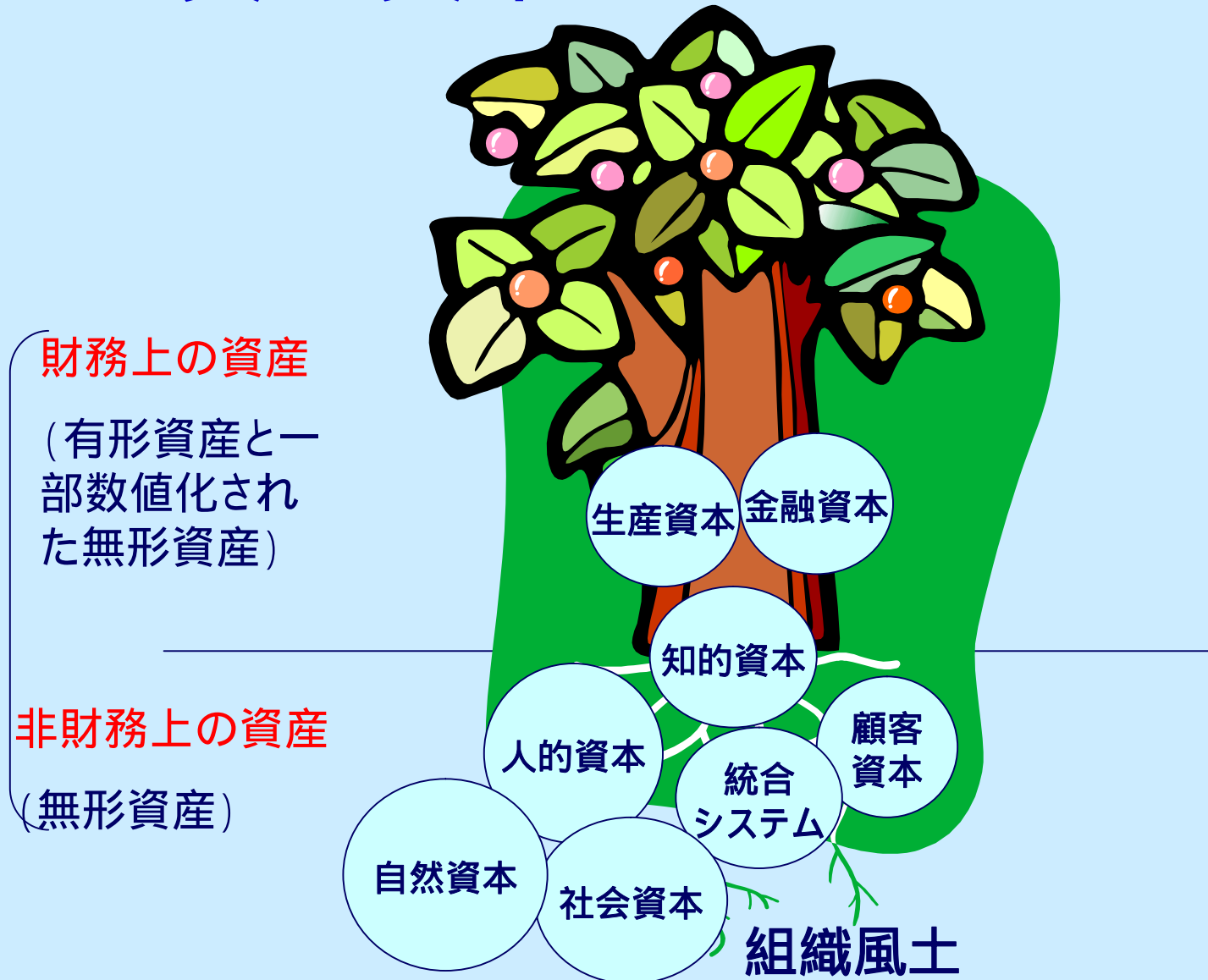
スウェーデンのエタノール車、間伐材の  
マウスパッド、空想生活



# コミュニケーションの次元



# 真の資本とリスク



# 企業にとっての新しいパートナー

「チャンネル」から「場」へ

NGOへの参加 / 支援

MSH(マルチステークホルダー)グループ  
企業パートナー、フォーラムの紹介



## 更新情報

NEW

2010年01月21日

[「エダヒロはこう考える」アップしました](#)

2010年01月15日

[温暖化FAQに1件追加しました](#)

2009年12月24日

[温暖化FAQに1件追加しました](#)

2009年12月17日

[「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト2009年版レポート」\(温暖化REPORT\)](#)

2009年12月14日

[温暖化FAQに1件追加しました](#)

## 新着ニュース

[研究報告:サンゴは気候変動の悪影響から回復できる](#)[研究報告:気候変動との戦い](#)

# 2010年01月25日

## 英FTSE 100社調査:エネルギー、電力、原材料部門はもっと積極的な削減目標を

カテゴリー: エネルギー, 政治, 法律, 経済

(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクトより)

主要企業の気候変動関連情報を集めた最大のデータベースを持つ非営利組織カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)は1月7日、CDPの2009年データをもとに調査した英国のFTSE 100社(ロンドン証券取引所に上場している上位100社)の排出量削減目標に関する報告書を発表した。

英国では、2008年気候変動法により、2050年までに温室効果ガスの排出を1990年比で80%削減するという国の目標を設定している。報告書によると、英国が気候変動法で定めた2020年までの中期目標を達成するには年2.4%の削減が必要となるが、FTSE 100社の目標の平均削減率は年2.5%であった。

しかしながら、FTSE 100社のうちの24社にすぎないエネルギー、電力、原材料部門の企業をみると、排出量ではFTSE 100社全体の87%を占めているにもかかわらず、その平均削減率は年1.2%にすぎなかった。

CDPのポール・ディケンソンCEOは、「エネルギー、電力、原材料部門は、もっと積極的な削減目標を設定することが重要だ。個々には高い削減目標を持つ企業もあ



ONDANKA NEWS TODAY

今日の温暖化ニュース

日刊

DAILY

温暖化新聞

72  
31

文字サイズの変更

小

中

大



サイト内検索



パートナーシップ

企業・団体パートナーの取り組み

取り組みを伝えるページ一覧

企業・団体パートナー全一覧

募集のご案内

イベント・フォーラム

日刊 温暖化新聞  
個人サポーターの会



## 企業・団体パートナーの取り組み

日刊 温暖化新聞 企業・団体パートナーのみなさまから、温暖化の問題に向けた、それぞれの取り組みについてお伝えするページです。

[みなさまの取り組みを伝えるページ一覧](#) ➔

### 新着ページ

**NEW** [株式会社 日本エコシステム](#) [2009年12月03日]

**NEW** [協同組合エスウッド](#) [2009年12月03日]

**NEW** [株式会社フルハシ環境総合研究所](#) [2009年11月26日]

**NEW** [日本コカ・コーラ株式会社](#) [2009年11月25日]

**NEW** [株式会社 NTTファシリティーズ](#) [2009年10月16日]

### お知らせ

2010年01月19日

**【東京ガス株式会社】**

④ 家庭用燃料電池「エネファーム」が第14回新エネ大賞  
「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました



日刊  
DAILY

温暖化新聞

72  
31

文字サイズの変更

小

中

大



サイト内検索

# マルチステークホルダー・グループ

日刊 温暖化新聞とともに



パートナーです



ありがとうございました...



Junko Edahiro

44